



# きよさとっ子

## 「清里を盛り上げたい」という気持ち

校長 渡邊 正博

10月11日(土)「サマーカーニバルきよさと坊太郎祭り」が行われました。私は都合で夕方から参加しましたが、龍神太鼓の勇ましさとおなかに響く太鼓の音に、大感動しました。

前日、この祭りのことを校長室の資料で予習し、給食の放送で子どもたちに語りました。

(前略)いよいよ明日は、みなさんも楽しみにしている「きよさと坊太郎祭り」の日です。校長先生、ちょっと調べてみました。第1回が行われたのは1984年。昭和59年のことです。当時は、「サマーカーニバル イン 清里」という名前でした。その時は上越市清里区ではなく、清里村でした。清里村に住む30歳くらいの若者が10人くらいで「むらおこしグループ」というグループを作って、地域を元気にするにはどうすればよいかを考えていたところ、清里中学校に野球のナイター照明が作られることになり、夜でも照明で明るくできるのなら、夜に夏祭りをしたらどうかと考えたことから、始まったようです。

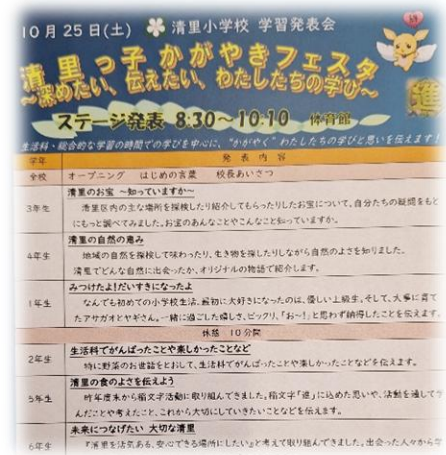
どんな祭りにするか、むらおこしグループだけでなく、村のもっと若い20歳くらいの人たちでつくっている青年団にも声をかけたそうです。じゃんけん大会、長靴飛ばし、大抽選会などの楽しいイベントの他、「ちゃんこ鍋」コーナー、豚のまるやきコーナー、金魚すくいもあったようです。すごいイベントだったんですね。第1回のお祭りに参加した人はなんと2千人。当時の清里村の半分の人が参加したと言われています。

その後も「サマカニ」という愛称で親しまれたこのお祭り。花火が行われるようになったのは、第2回サマーカーニバルからだということです。

明日は、村の若者たちが考えて、つないできた41回目のお祭り。みなさんはどう楽しみますか。校長先生も地域の人たちに感謝して、楽しんで参加します。第1回の時に20歳30歳くらいの人たちって、今、60歳から70歳くらいの人たちってことです。みなさんの近くにもかかわったおじいちゃんおばあちゃんがいらっしゃるかもしれませんね。(後略)

坊太郎祭りを立ち上げた方々の「清里区を元気にしたい」「清里のいいところをつないでいきたい」という思いは、今の清里小の子どもたちにも脈々と受け継がれています。

子どもたちは、10月25日(土)に行われる「清里っ子がやきフェスタ(学習発表会)」の発表に向けて、学習の中間まとめをしています。どの学年も清里をテーマにした学習の発表です。「清里のよさを伝えて驚かせたい」「自然のよさを守っていききたい」「地域を盛り上げたい」それぞれの発表には清里への熱い思いがこめられています。当日は、たくさんの方から発表会にご参加いただき、子どもたちの頑張りと清里への思いを感じていただけると幸いです。





## 9月後半、10月前半のトピック



**9/16 稲文字学校田稲刈り**  
田んぼの先生方に指導を仰ぎながら、縦割り班で協力して、仲良く和気あいあいと作業を楽しみました。



**9/18～19 自然教室**  
5年生が一泊して、源流体験、キャンプ・レモン、妙高アドベンチャーなど自然や仲間と存分に関わりました。



**9/22 あいさつ運動**  
総務委員会児童が率先して爽やかなあいさつをして、地域・家庭・学校のすてきな輪が広がりました。



**9/18 ヤギさん入学**  
迎えたヤギさんに「キラキラちゃん」と名付け、毎日のお世話や掃除などを張り切っている1年生です。



**9/26 防災学習**  
4・6年生が、災害に備えるまちづくりについて、区の担当者の説明や体験を通して理解を深めました。



**9/30 城址探検**  
3年生が京ヶ岳と白看板の2つの城址に出掛けて、森田さんから、城の役目や築城の工夫を学びました。



**10/1 なかよし遠足**  
縦割り班で学校付近の名所等を訪れ、クイズやゲームで仲を深め、温かな姿がたくさん見られました。



**9/25・10/2 生産現場見学**  
5年生が(有)きよさと・NTフーズを訪れ、食に携わる方々の願いや工夫について学んできました。



**10/8 持久走記録会**  
保護者や地域の皆さん、友達の応援もあり、全員無事に走り抜くことができました。



## 10月2日(木)学校運営協議会を開催しました

10月2日(木)の午後から学校運営協議会を開催しました。子どもたちが熱心に学ぶ様子を参観後に協議会を行いました。各委員からいただいた下記のような助言や提案、学校としての考えを、今後の教育活動の改善・発展につなげていきたいと思います。

★こころ・まなび・からだの各取組において、家庭を巻き込んだ連携の推進・意識付けの継続を

★学校行事のコンセプトの一層の周知、スポフェスは音響の改善や内容の充実を図ること

★今年度を、少子化・地域活力・合併20年などによる考え方や対応の仕組みを見直す元年と位置付けたい

★いじめやトラブルの認識を放置せず、校長のリーダーシップの下、全職員で問題解決を



HP  
随時更新中